



編集・発行 山見乃妙能勢
山見乃妙能勢報部
〒563-0132 大阪府豊能郡野間中
電話 072-739-0329
FAX 072-739-2883

願いと誓い、

そしてご守護

日慧

「オウ、これでボクは速く走れるようになったぞー」

興奮した様子で御守りを握りしめて、その男の子は叫びながら部屋中を走り回ったという。

能勢妙見山では、今年も四月二十九日に星嶺祭子供祭りが開催された。但し今年には新型コロナウイルスの影響でイベントは中止。祈願法要も参拝者なしで行われた。その代わりに新しい試みとして、ご祈禱を申し込んだ子供たちには「誓願紙」というものを送った。

これは自分の一年間の努力目標を妙見様への誓いと、またそれが達成できる

よう妙見様に守っていただくという願い（誓願）を書いてもらうものである。

この「誓願紙」を送り返してもらい、その誓願が妙見様に届くよう、本人の書いた「誓願紙」を子供自身の身代わりとして妙見様のご宝前で毎日ご祈願する。

そしてこの誓願紙をさらに御守り袋に入れて再び子供たちに届けたのである。

つまりこの御守りには、子供たちが自分で決意した誓いと、それを達成できるように見守って下さる妙見様の守護のお力の二つが籠められているのである。

ある子供さんの父親からお礼の電話があった。

「妙見様から戴いたパワーで、もうこれで走るの間違

いなく速くなったんだと、興奮していました。」

コロナ禍で自粛中の家の中ではあるが、家族みんなが大騒ぎして悦んでいる様子が目に浮かぶようだ。

そこで気になったので、妙見様のご宝前においてある「誓願紙」のコピーを練ってみた。

「〇〇はもうすぐ6さいになる。はやくはしれるようになりたい」

ただたどしいけれど力強い、一生懸命書いたに違いない「誓願紙」があった。

願いというものは、自らが妙見様に誓いその目標に向かつて進むとする意志と努力があつてこそ、叶えられぬものである。妙見様と男の子、離れていても心の絆によってしっかりと結び、私たちも力を添えたいと、心から願っている。

【7月の主な行事】

- ☆虫払祈禱祭 22日(水) 24日(金) 宝刀(浪切丸)の靈力を戴き煩惱の虫を払います
- ★月例祈願法要 15日(水)13時 妙見さまの御縁日祈願会 開運殿にて執り行います
- ★鷗様月例祭 22日(水)15時
- ★享経会・清掃の日・七夕祭 星嶺演奏会・星嶺茶論 いずれも中止します
- ※ご祈禱・ご回向・兜矢等のお申し込みは窓口の他、郵便・FAX・メールにても受付しております

【8月の主な行事】

- ★享経会 9日(日)11時
- ★清掃の日 15日(土)11時
- ★月例祈願法要 15日(土)13時 妙見さまの御縁日祈願会
- ★鷗様月例祭 22日(土)15時 火伏守札を授与します
- ★星嶺演奏会・星嶺茶論 中止します
- ※社会情勢により、予定は変更することもあります

《交通のご案内》

- ◆ケーブル&リフト毎日運行。運行状況の詳細は能勢電鉄にお問い合わせ下さい
- ※送迎車の運行は、当面見合わせています

感染拡大も一息ついたらよです。まだ油断

はできませんが、当山でも情勢を鑑みながら対応いたしたく、ご信者様の更なるご協力をお願い申し上げます。

《当面の対応策》

- ① 窓口業務は再開。ご祈禱ご回向等は郵送・電話・メールも可。
- ② 昇堂はマスク装着、

☆☆☆☆星のたより☆☆☆☆

- 人数制限の上、外陣にてお詣り願います。
- ③ 写経会は今月中止。郵送で対応します。
- ④ 出会の鐘巡り・登山カード押印は休止。
- ⑤ 売店は移転完了次第に再開します。
- ⑥ 浄水堂・諸堂の鐘の紐は使用できません。
- ⑦ 送迎バスは運行を中止しています。

気持ち伝える

箕浦 溪介

馴染みの友人に対して、「きつとわかってくれるだろう」という思いから、ついつい対応が雑になってしまふことがある。

友人との連絡手段は、主にメッセージアプリを利用する。これは言葉がなくても、自分の気持ちが伝えられるようになっていてとても便利だ。メッセージアプリでは「スタンプ」と呼ばれる、気持ちを表すイラストが送信できる。つまり、「今日こんな光景を見て面白かったんだ」とか、「今こういう気持ちなんだ」ということを、わざわざ言葉に変換しなくても相手に伝えることができる。

かくいう私も、そんな便利な機能をよく使う。特に眠い時や、会話が面倒になつてきた時は顕著だ。卒業後すぐのころ、友人にと

うとう怒られた。

「真剣に話しているのに、君はふざけているのか」と叱責されたのである。

そこで過去のメッセージアプリを見返してみた。思っていたよりひどい。全然会話に参加していない。その上深い話題の時でもスタンプで済ませている。しかも話題に関係のないスタンプだ。今思えば、よく付き合ってくれていたと思う。

もともとあまり話す方ではない。頭の中では話が進んでいるが、それを言葉にするのに時間がかかる。なのでついつい解かりやすいスタンプに頼ってしまう。

日蓮聖人は数多くのお手紙を書かれている。その多くはご信者から届けられたご供養へのお礼だ。お礼の言葉とともに、必ず法華經の教えが説かれている。このようなお手紙が今もなお多数残されているということは、みんなが大切に保存

《法華經に学ぶ現代》

純智庵

無量の衆生を

愍念安樂し

天・人を利益し

一切を度脱する

是を大乘と名く

『譬喩品第三』

この地球、無数のいのちが生きている

人間だけの幸せを求めるとは

止めにしないで自然とともに生きる道

みんなの幸せを考えよう

天の声をばキャッチして地球を

大きな乗り物にそれが 仏の願いです

俳壇

（みのり）

流れ来る水豊かなり梅雨の川

渡月橋ゆるゆる渡りかき氷

杉大樹鴉一声梅雨晴間

ジヨギングをよけて一とびバツタの子

ビル街に囲まれ青田すくすくと

法華經茶話 II

仏教誕生の時代背景④

では釈尊の教えの目的とはなんだったのでしょうか。それは輪廻転生からの解脱です。

輪廻転生とは、永遠に生死を繰り返すことです。当時のインドでは、次のように信じられていました。現世は奴隷であっても、真面目に正しく生きていけば、来世では王族になれるかもしれない。しかし逆に悪いことばかりしていたら来世ではゴキブリに生まれてしまうかもしれない。だから善行を積み、良い来世を信じることで、庶民は心の安らぎを得ていたのです。つまり、この輪廻転生の思想がカースト制度を支えていたのです。しかし、次は何に生まれ変わるかなど誰にもわかるはずがありません。

そこに、こんな人生に意味があるのか？と疑問を抱く人々が現れました。当時の知識階級の人々です。